

1、ICTの活用について

- ・実際の動作を動画で見ることで、言葉では伝わるづらい微妙な部分でもよくわかると思う。より利用者様の自立に向けた多職種の連携がとりやすいと思った。
- ・画像などがあると、スタッフ間での情報共有できやすいと思った。
- ・今度の診療報酬改定で点数化されるらしいので、興味がある。
- ・電子カルテが見られると良いと思いました。
- ・できる所、できないところがあるので、全体的にできるっていいと感じている。動画などで食事や排せつ、活動状況がわかるといい。
- ・使用しているが、話題提供の中身が魅力的ではなかった。活動成功例などももっと聞いてみたかった。
- ・エリアによって利用の差がある。
- ・他の方がどのような活用をされているのか興味があったので。(メール、訪看の報告書をいただくくらいなので)
- ・実際に登録、利用はしていない現状ですが、有効な活用方法(動画の活用等)を聞いて良かったです。
- ・初めて参加させていただいて、あまりこのネットについて聞いたことがなかったのでこのようなことで共有できるんだと知りました。
- ・利用したことも閲覧したこともなかったため、普及すればとても便利なものと思った。
- ・今は周りに利用している人がほとんどいないので、ICTは苦手なので、「便利」より、「今の使いやすさ(TELやFAX)」の方をとってしまいます。
- ・患者様の動きとかは、動画で見ると多職種の者が解るので良いと思った。在宅での状態は聞き取りだけでは難しい。
- ・今の機能している具体例がもっとたくさん聞けたらよかったが、事例を見てもっとみんなが活用すればすごくスムーズになると感じた。
- ・他の職種や事業所はどの程度利用について意識されているのか知りたいです。ケアマネ、訪問看護師さんの利用は限りなく可能性は高いですが、現状もつたいないと思ってます。
- ・活用した経験がなく全体像を知りたくて参加した。資料がいただけると良かった。
- ・今後、うまく利用できると良い。
- ・動画の有効な活用が望まれるが、毎日関わる可能性やヘルパーさんやデイサービスなどが使えるか? 誰がUPできるか。
- ・びわこあさがおネットへの移行に興味があった。
- ・具体的内容がわかり良かった。活用事例などがあればよかった。
- ・情報共有ツールがあったことをしなかったのが、どのようにどんな方が活用しているかを知ることができたが、もう少し具体的に聞くことができたら良かった。
- ・クリニックとして得られる情報が限られているため、主治医から見た新しい情報がどの程度まで得られるのか聞けると良かった。
- ・業務上使う機会がないのですが、上手に活用することで、連携がスムーズになると思う。
- ・情報共有のフォーマット(湖北圏域or県)があると使いやすいのではないかと思います。病院・診療所・サービス事業所がネットワークでつながるとより、効果的に連携できると思います。
- ・新しい物がどのような機能があるか興味を持ちました。

2、びわ湖あさがおネットの活用の理由

- ・伝えた内容などが書面に残るので、漏れがないなどのメリットが多いので。
- ・統合すると、異常に使いやすくなると思います。

- ・便利そうな機能がありそう。
- ・在宅での様子や退院支援につなげられると良いなと思いました。
- ・もう少し整ったらしたいと思う。ログインしにくいので、もっとしやすくなるといい。
- ・利用する必要性は感じている。
- ・退院後の患者さんのことを知る情報源の一つになるので。
- ・病院と地域の情報共有がしやすく、便利になると思う。
- ・利用の幅が広がりそう。
- ・現在、あさがおネットを利用中のため、引き続き利用できたらと思います。
- ・情報共有するのにとても便利そうだから。
- ・法人で活用したいとなれば、活用したいと思いました。
- ・動画で伝える方が伝えやすいため。
- ・活用したいが、社内ルールがあり、厳しそう。
- ・使いこなせる人には便利だけど、ICTが苦手な人にはそれだけで、足が遠のきます。
- ・一元化することによって、ログインも簡単になるようなので、活用したい。
- ・自宅に帰られた後の状態を特に、ターミナルの方の情報が欲しい。
- ・便利だから。
- ・双方向で情報共有できるので、ありがたいです。特に苦情事例は入院されるといただきたいので。

活用する場面があまりないがより多くのDr.や機関が活用できるようになると良いと思う。

- ・わからない。
- ・会議で集まったり、時間外に難しい状況もある。
- ・動画、メール。
- ・入院した時や退院して診療所がかかりつけになり、サービスを使うときに情報共有・提供が迅速にでき、電話より時間短縮になるため。在宅へ帰られてから、どのように生活しているのか評価できないが、ネットを使えば生活状況が見え、退院の調整が
- ・医療情報が手に入りやすい。
- ・業務の短縮になる。
- ・情報共有しやすい。
- ・在宅や施設におられる患者のケアで相談の電話がよくかかってくるので。
- ・上手く共有できるのなら活用したいと思いました。
- ・患者登録を増やしていくためにまずは活用する事業所を増やしていくのが大事だと思う。
- ・あさがおネットを使用しているため。
- ・直接患者さんを支援する部署ではないから。

3、困った事と、良くなって欲しい思い

- ・電話では伝わりにくい。なかなか相手が見つからない。予定が合いにくい。
- ・合同カンファレンスで、各種事業者と情報共有しているにもかかわらず、別途診療情報提供書を求められることがしばしばある。共有の手段が、カンファレンスと診療情報と重複している。係る業務が多重して困る。
- ・電子カルテで在宅での様子や診療所での診療の様子がわかれば、入院中の看護につながられると思いました。
- ・暫定的な診療情報のやり取りなどができたらうれしいです。主治医面談の予約とかできたらおもしろいですね。使う方も増えそう。
- ・勤務状況によって、なかなか勤務が合わず話が進まないことがある。
- ・病院、薬局間でのメールのやり取りができるようにしていきたい。居宅療養の報告書・提出等、スムーズに行いたい。
- ・出来る限り、全サービスの方と利用情報を共有したい。利用サービスが多いとTELするのが大変。
- ・訪問看護師さんから救急センターに受診の依頼があった際、患者さんの状況がわかりにくくなったことがありました。あさがおネットが病院でも活用できたらと思いました。
- ・一方的な情報提供になることが多い。
- ・WOC、感染、癌性疼痛など病院などの認定看護師さんにも参加してもらえると訪問看護師さん達も相談できるのにといいことがあった。開業医の先生が皆さん使ってくださいと退院の調整のやり取りがスムーズになる。
- ・調剤薬局の方にどんどん入ってほしい。
- ・開業医の登録が少なく、不便だと思っています。
- ・ケアマネさんで介護支援退院指導するときのもっと簡単な書式があればよい。更にそれが湖北圏域で統一されたならもっと良いと思っています。
- ・バルーンや褥瘡の処置が必要な利用者のサービス担当者会議に関わる事業所が多く、全員が集まるのが難しい。訪看さんが処置の仕方を写真に撮り、詳しい説明を加えたものを作って下さっても統一した処置ができていなかった。あさがおネットを在宅の支援の中で活用できるようになってくれるといいです。
- ・開業医への連絡が、診療時間を考慮しての連絡になるため、すぐに連携できず困ることがある。あさがおネットやメディカルネットにもっと登録してもらい、メールでやり取りできるともったいないと思う。調整がどんどん遅くなることもある、時間短縮になる。
- ・ICTの活用は情報共有を容易にするので、ぜひ利用したいのだが、地域のDrが利用されないと意味がない。
- ・サービス事業所なども利用できることで、連携も強まると思います。
- ・普通にメールで画像を送信されてくると個人情報大丈夫なのかとても不安になることがあった。
- ・利用者が整形に受診してもなかなか本人からちゃんとした情報が得られないことがあるため、そのような場合にXp、CT等またDrからの意見が得られると良いと思う。
- ・入力の手間を極力少なくなればさらに普及が進むと思われます。
- ・入院している利用者を面会に行ったが、おられずに、どこに行ったかわからないことがあった。(転院先不明)

4、その他の意見、希望など

- ・レジュメがないのは不便と感じました。全部メモしたり、覚えたりできないです。
- ・連携の輪がもっともっと広がりますよう期待しています。
- ・先生の話は専門的用語もあり…多職種の集まりであるので…
- ・どのようなシステムなのか、今後理解を深めていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・難しいかもしれないが、あさがおネットを使用しているDrにも参加していただくと良いと思います。